

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 兵庫県芦屋市
本事業の担当部局名 市民生活部市民室人権・男女共生課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業			
区分		重点メニュー			
関連事業メニュー		3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進			
個別事業名		男性の家庭生活での活躍推進		新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度 令和4年度
総事業費(A)(円)		283,200	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	5,000	差引額(A-B)(円) 278,200
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		283,200			
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市の人口推移をみると、総人口は減少傾向であり、令和6年12月1日現在では94,054人となっています。また、年齢3区分別の人口構成における年少人口(0～14歳)は年々減少し、令和6年11月末では10,720人で、人口の約11.4%です。 本市では、社会環境の変化に応じた就学前教育・保育施設の整備やこどもたちが放課後などを安全・安心に過ごせる居場所づくりに取り組み、仕事と子育ての両立に向けた環境整備を進めています。 <本個別事業の位置付け> 令和5年3月策定の第5次芦屋市男女共同参画行動計画ウィザース・プラン(第3次芦屋市女性活躍推進計画を含む)では、「男性の家庭生活での活躍推進」を重点取組として掲げ、男性の家事・育児等、家庭生活への積極的な参画の促進及び育児取得者の増加に向けて取組を進めています。			
	番号	項目	内容		
	1	男性の家庭生活での活躍推進(企業向けセミナー)1回	男性の家事や育児への関わりを増やすために、職場や上司への理解促進や意識改革への取組につながる講座を開催する。また男性の家事・育児への関わりが企業戦略にどう関わるか、組織の意識改革をどのようにすすめていくかなどをテーマとする。また、育児休業取得率の低さや男性の家事・育児に関わる時間が少ない理由の一つとして、長時間労働や休暇取得のしづらさが考えられる。これらの課題の解消に繋げるため、業務改善をテーマにキャリアコンサルタントなどに講演を依頼して講座を開催する。女性活躍推進法の一般事業主行動計画の策定義務のある企業や芦屋市商工会との連携などより多くの企業や関係者の参加を促す。 ※実施方法:オンラインも活用したハイブリッドや、県立男女共同参画センター・芦屋市商工会等との共催を検討。 ※対象:市内に本社・本店・事業所・営業所等がある全業種、30社程度の経営者や管理職、人事担当者等 ※広報:市ホームページ、広報紙、市Facebook、芦屋市商工会の協力により市内事業者へチラシの配布 ※市内で働く方にも広く周知を図る。		

個別事業の内容	2	男性の家庭生活での活躍推進(市民・男性向けセミナー) ◎父親向け料理教室の開催(1回) 父親やこれから父親になる方等を対象に、今後家事に関わるための知識や技術の習得のため、公共施設の調理室を利用し、専門家を講師に迎えて料理教室を開催する。【参加見込み数:10人】 ◎家族で考える家事分担や、働き方、ワーク・ライフ・バランスに関する講座の開催(1回) 男性が家事に関わるために、家事分担や『見えない家事』などを家族で考え、実践していくための講座やワーク・ライフ・バランスに関する講座を開催する。【参加見込み数:10人】 ◎乳幼児とその父親を対象とした参加型の講座やイベントの開催(3企画、9回実施) 父親が子どもと関わる機会を持つために、親子で参加できる講座を開催する(2企画3回)。1企画6回実施のイベントは、子どもを連れて父親同士で交流や情報交換ができるものを開催する。パートナーが妊娠中のプレパパも参加可とし、講師や先輩パパの話を聞くことで、プレパパの不安を軽減させると同時に、父親同士の輪を広げることを狙いとする。【参加見込み数:100人】 ※広報:市ホームページ、広報紙、市Facebook、子育てアプリ、男女共同参画センターでの他の講座や乳幼児健診の参加者にチラシを配布 ※いずれのセミナーにおいても、「家事・育児に対する意識改革」と「基本的なスキルの習得」の両方が叶うような内容を盛り込む。
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 令和3年実施の芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査では、「男性が積極的に家事や子育て等を行うための課題(複数回答可)」は、「長時間労働などを原因とした関わる時間の少なさ」(51.6%)が最も多く、次いで「男性自身の抵抗感」(45.2%)、「男性が関わることにに対する当事者以外の偏見、理解や配慮の無さ」(39.6%)、「家事や子育て、介護等のスキル(技能)」(30.7%)の順となっていることから、固定的性別役割分担意識にとらわれない多様な働き方の促進に向けた意識醸成を図る必要があります。 令和5年3月策定の第5次芦屋市男女共同参画行動計画ウィザース・プラン(第3次芦屋市女性活躍推進計画を含む)では、「男性の家庭生活での活躍推進」を重点取組として掲げ、企業に対する積極的な意識改革への取組と、当事者である男性(父親)の家事・育児関連時間を増やすための取組を進めることで、温かい職場環境づくりと、男女が協力して家事・育児を行うことの重要性に対する意識醸成を図ります。また、男性(父親)の家事・育児への関わりやスキル習得の機会を増やすことが、女性(母親)の仕事と子育ての両立にも繋がるため、これらの取組を継続していきます。	

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.41(令和7年度)	1.35(H30年度)
	子育て世代の保護者の子育て環境や支援への満足度		%	29(令和7年度)	23.6(令和2年度)

参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.31(R2年)	
	婚姻件数		件	430(R元年)	
	婚姻率			4.6(R元年)	

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	講座やイベントの開催回数(企画数)	回	7(R7年度)	4(R6年度見込)
	②	講座やイベントへの参加者数	人	100(R7年度)	38(R6年度見込)
	③	参加企業数	社	15(R7年度)	3(R5年度)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	講座やイベントの満足度(『参考になった』の割合)	%	80(R7年度)	73(R6年度見込)
	⑤	参加企業における新たに取組む項目があると答えた企業の割合	%	50(R7年度)	-
	⑥	受講後新たに家事・育児で取組む項目があると答えた参加者の割合	%	50(R7年度)	-
	⑦				
⑧					